

## 「第2回 あおもりの農山村フォトコンテスト」 入賞作品一覧

### 農山村の風景部門

各賞	題名	氏名
最優秀賞	染まる稲田（弘前市境関）	相馬 勉
優秀賞	津軽桃景（藤崎町）	館山 昇
〃	菜の花咲く風の丘（横浜町大豆田）	西巻 敏美
入選	柿すだれ（南部町名久井）	市川 清一
〃	晩秋の祠（鱒ヶ沢町中村）	小山内 雅幸
特別賞	Reflection（弘前市岩木）	対馬 慎太郎

### 山里の暮らし部門

各賞	題名	氏名
最優秀賞	ほっと一息（青森市新城）	館山 昇
優秀賞	豊作祈願（三戸郡南部町南部芸能伝承館）	白山 健悦
〃	ひなかざり（八戸市南郷）	竹ヶ原 謙一郎
入選	夏休みの少女（中泊町今泉）	三上 則昭
〃	田植え（弘前市）	山下 茂
特別賞	虫送り（五所川原市相内）	三戸 俊彦

## ～ 農山村の風景部門 ～

最優秀賞 染まる稲田（弘前市境関）／ 相馬 勉



【講評】夕暮れ時に赤く波打つ雲を強調して、大胆に作品に取り入れました。ただ、赤く染まっているのは空だけではありません。田んぼの稲穂も朱色に輝き、津軽平野が空も田んぼも真っ赤に燃えているようです。遠くには岩木山のシルエット。裾野に向かって太陽がゆっくりと沈んでいきます。家々に明かりがともり、夜の闇が近づく中のドラマです。津軽平野で繰り広げられる、悠久の時の流れを感じさせる作品です。

---

優秀賞 津軽桃景（藤崎町）／ 館山 昇



【講評】リンゴ産地として有名な藤崎町に見事な桃が繁っています。遠くには残雪の岩木山。間を五能線の列車が横切っています。高い位置から撮影したことで、作品に奥行きが生まれました。列車の向こう側はリンゴ園でしょうか。桃、桜、リンゴと花が咲き、津軽の春は満開です。

優秀賞 菜の花咲く風の丘（横浜町大豆田）／ 西巻 敏美



【講評】 圧倒的なスケールで広がる黄色の菜の花の向こうには、風車が並ぶ緑の丘陵地帯、そして、ぽっかりと白い雲が浮かんだ青空が広がっています。黄、緑、青と、目にまぶしい3色のコントラストを強調し、春の日差しをたっぷりと感じさせてくれる作品です。

---

入選 柿すだれ（南部町名久井）／ 市川 清一



【講評】 軒先にずらり並んだ柿のカーテンが壮観です。初めは鮮やかだったオレンジの柿が、時間の経過と共に落ち着いた色調に変わり、作品に重みと安定感が生まれました。



入選 晩秋の祠（鱒ヶ沢町中村）／ 小山内 雅幸



【講評】刈り取った田んぼに突き出た緑地に、黄変したイチョウと古ぼけた建物、朱色の鳥居が並んでいます。何気なくシャッターを押したように見える1枚ですが、季節の移り変わりとの流れをしっかりと感じさせる作品です。

---

特別賞 Reflection（弘前市岩木）／ 刘馬 慎太郎



【講評】水を張った田んぼに夕日が反射して、まばゆい輝きを放っています。青、白、オレンジと3分割された空が、シルエットの岩木山を包み込み、信仰の霊山を神秘的に演出しているようです。

## ～ 山里の暮らし部門 ～

最優秀賞 ほっと一息（青森市新城）／ 館山 昇



【講評】二人で朝早くから田んぼの稲刈りに精を出し、ようやく半分ほどを刈り終えたところでしょうか。腰を下ろし、ほっと一息ついている時に、SLがもくもくと黒煙を上げて通過しました。手前の女性が手を振って歓迎しています。顔は見えませんが、懐かしいSLを目にし、白い帽子の下はきっと満面の笑みが広がっているはず。田んぼの棒掛けにSLと役者がそろい、のどかな農村の暮らしがよみがえってきます。

優秀賞 豊作祈願（三戸郡南部町南部芸能伝承館）／ 白山 健悦



【講評】きらびやかな烏帽子をかぶった太夫が雪の残る大地を摺（す）る「えんぶり」。広角レンズを使い、力強い太夫の動きと囃子方がバランスよくまとまっています。えんぶりは南部地方に春を呼ぶ祭りといわれますが、抜けるような青空が厳しい冬の終わりを伝えているようです。



優秀賞 ひなかざり（八戸市南郷）／ 竹ヶ原 謙一郎



【講評】「お内裏さま」と「お雛さま」はもちろん、三人官女や五人囃子まで、すべて農作物で作られた「農のおひなさま」です。じっとながめっていると、思わず噴き出してしまいます。この作品に理屈はいりません。「♪あかりをつけましょ♪ぼんぼりに」と童謡『うれしいひなまつり』の歌声が聞こえてきそうです。

---

入選 夏休みの少女（中泊町今泉）／ 三上 則昭



【講評】夏休みの1日を祖父母のうちに過ごそうと、やってきたのでしょうか。網を手ににはかむような少女の表情に引き込まれ、不思議な雰囲気漂う作品です。どんな風に遊ぶのか、あれこれ想像してみたくくなります。

入選 田植え（弘前市）／ 山下 茂



【講評】 秀峰・岩木山に見守られ、田植えに精を出す農家の人たち。田んぼはまだ殺風景ですが、周囲では緑が濃さを増し、暖かい日差しのせいで田んぼの水もぬるんでいきます。春の訪れと津軽平野のスケールを感じる作品です。

---

特別賞 虫送り（五所川原市相内）／ 三戸 俊彦



【講評】 集落を練り歩いた後、高台にある神明宮に虫を担ぎ上げる場面をとらえました。相内地区は津軽地方の虫送りの原形をとどめているといわれますが、石段を登る男衆の姿から、たくましさや伝統が伝わってくるようです。